

2026年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社 大田花き
コード番号 7555 URL <https://otakaki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 萩原 正臣
問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 平野 俊雄
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	787	△6.7	△45	—	△20	—	△15	—
2025年3月期第1四半期	843	△8.7	5	△79.1	33	△33.1	20	△38.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △15百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 20百万円 (△38.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△3.08	—
2025年3月期第1四半期	4.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	7,715	5,124	66.4	1,007.20
2025年3月期	8,386	5,201	62.0	1,022.28

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,124百万円 2025年3月期 5,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2026年3月期	—				
2026年3月期 (予想)		0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,932	1.9	278	0.7	332	0.4	223	0.6	43.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) , 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年3月期1Q | 5,500,000 株 | 2025年3月期 | 5,500,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期1Q | 412,326 株 | 2025年3月期 | 412,326 株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2026年3月期1Q | 5,087,674 株 | 2025年3月期1Q | 5,087,674 株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲載される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や輸出などに改善の動きが見られ景気は緩やかな回復基調にありました。一方で食料品など身近な商品の物価上昇が続く中、米国の関税措置による不透明感も高まり、消費マインドは悪化いたしました。

花き業界においては前年11月まで高温傾向による生育不順や、品薄による高値基調が長期間継続し、その影響は年明け2月まで続きました。本年2月には全国的に極めて厳しい低温に見舞われ、西南暖地中心に春彼岸向け出荷が大幅な遅延を起し、需給バランスの不均衡から春彼岸以降東日本大震災発災以来の低調市況となり、主力の菊類中心に厳しい市況展開が全品目へ波及し、その余波は当第1四半期一杯影響残り、大変厳しい取引環境へと陥りました。

その中でも母の日需要は底堅く、需要期間際はカーネーションを中心に多様性の時代らしく幅広いお花の引き合いが増し、盛況な受注を背景に相場が持ち直す場面も見受けられました。

引き続き需要と供給のバランスは、生産者の高齢化や生産資材の高騰、人件費・輸送コストの高止まりから予測を許さぬ状況にあります。当社グループは生産から消費までのサプライチェーンへ適切にコミットし、持続的に生活者へ潤い豊かな花のある暮らしを提供できるよう努めて参ります。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高7億87百万円（前年同四半期比6.7%減）、営業損失45百万円（前年同四半期は5百万円の営業利益）、経常損失20百万円（前年同四半期は33百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失15百万円（前年同四半期は20百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は77億15百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ7億25百万円減少し31億52百万円、固定資産は前連結会計年度末に比べ54百万円増加し45億63百万円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金16億71百万円、売掛金11億93百万円、固定資産の主な内訳は建物及び構築物23億58百万円です。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は25億90百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ5億53百万円減少し14億65百万円、固定負債は前連結会計年度末に比べ40百万円減少し11億25百万円となりました。流動負債の主な内訳は、受託販売未払金8億43百万円、固定負債の主な内訳は退職給付に係る負債5億37百万円、資産除去債務1億49百万円、長期借入金70百万円です。

純資産は前連結会計年度末に比べ76百万円減少し51億24百万円となりました。これは剰余金の配当61百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失15百万円の計上によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して75百万円減少し16億71百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、1億20百万円（前年同四半期は73百万円の使用）となりました。主な増加要因は、売上債権の減少8億8百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少5億26百万円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、1億18百万円（前年同四半期は19百万円の使用）となりました。主な減少要因は、有価証券の取得による支出1億円、有形固定資産の取得による支出17百万円であり、増加要因は貸付金の回収による収入5百万円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、76百万円（前年同四半期は75百万円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出72百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月9日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,746	1,671
売掛金	2,002	1,193
商品	19	17
その他	108	269
流動資産合計	3,877	3,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,389	2,358
工具、器具及び備品（純額）	352	333
その他（純額）	135	142
有形固定資産合計	2,876	2,833
無形固定資産		
ソフトウェア	74	68
その他	4	4
無形固定資産合計	79	72
投資その他の資産	1,552	1,656
固定資産合計	4,508	4,563
資産合計	8,386	7,715
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,349	843
買掛金	61	41
1年内返済予定の長期借入金	269	244
未払金	60	36
未払法人税等	92	12
賞与引当金	18	62
その他	166	224
流動負債合計	2,018	1,465
固定負債		
長期借入金	118	70
退職給付に係る負債	536	537
資産除去債務	148	149
その他	362	368
固定負債合計	1,166	1,125
負債合計	3,185	2,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	551	551
資本剰余金	402	402
利益剰余金	4,597	4,520
自己株式	△350	△350
株主資本合計	5,201	5,124
純資産合計	5,201	5,124
負債純資産合計	8,386	7,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	843	787
売上原価	171	162
売上総利益	672	624
販売費及び一般管理費	667	670
営業利益又は営業損失 (△)	5	△45
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	13	14
持分法による投資利益	6	6
その他	8	3
営業外収益合計	28	25
営業外費用		
支払利息	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益又は経常損失 (△)	33	△20
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 (△)	33	△20
法人税等	12	△5
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	20	△15
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 (△)	20	△15

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	20	△15
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	20	△15
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	20	△15
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	33	△20
減価償却費	62	63
賞与引当金の増減額（△は減少）	45	43
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	9	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4	△0
受取利息及び受取配当金	△13	△15
支払利息	0	0
持分法による投資損益（△は益）	△6	△6
売上債権の増減額（△は増加）	1,097	808
棚卸資産の増減額（△は増加）	0	2
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,139	△526
未収入金の増減額（△は増加）	0	0
未払費用の増減額（△は減少）	△4	△3
未払金の増減額（△は減少）	△17	△7
未払消費税等の増減額（△は減少）	20	14
その他	△150	△175
小計	△58	177
利息及び配当金の受取額	21	19
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△35	△76
営業活動によるキャッシュ・フロー	△73	120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△100
有形固定資産の取得による支出	△23	△17
無形固定資産の取得による支出	△4	△0
貸付けによる支出	—	△6
貸付金の回収による収入	8	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△72	△72
配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75	△76
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△168	△75
現金及び現金同等物の期首残高	2,302	1,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,134	1,671

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。